

## 事業の基礎情報

実施主体	一般社団法人SMARTふくしらボ
事業実施地域	富山県黒部市
共創の種類	官民共創、他分野共創（福祉・介護）
他分野共創の種類	介護・福祉・地域・まちづくり
共創パートナー	黒部市福祉課、黒部市都市計画課、社会福祉法人黒部市社会福祉協議会、桜井交通株式会社
運行形態	タクシーの貸し切り運行と原則、通常の運行形態のある公共交通をフル活用していく。
運行主体	一般社団法人SMARTふくしらボから桜井交通株式会社へ運行委託

## 取組の概要

### （現状の地域課題と事業目的）

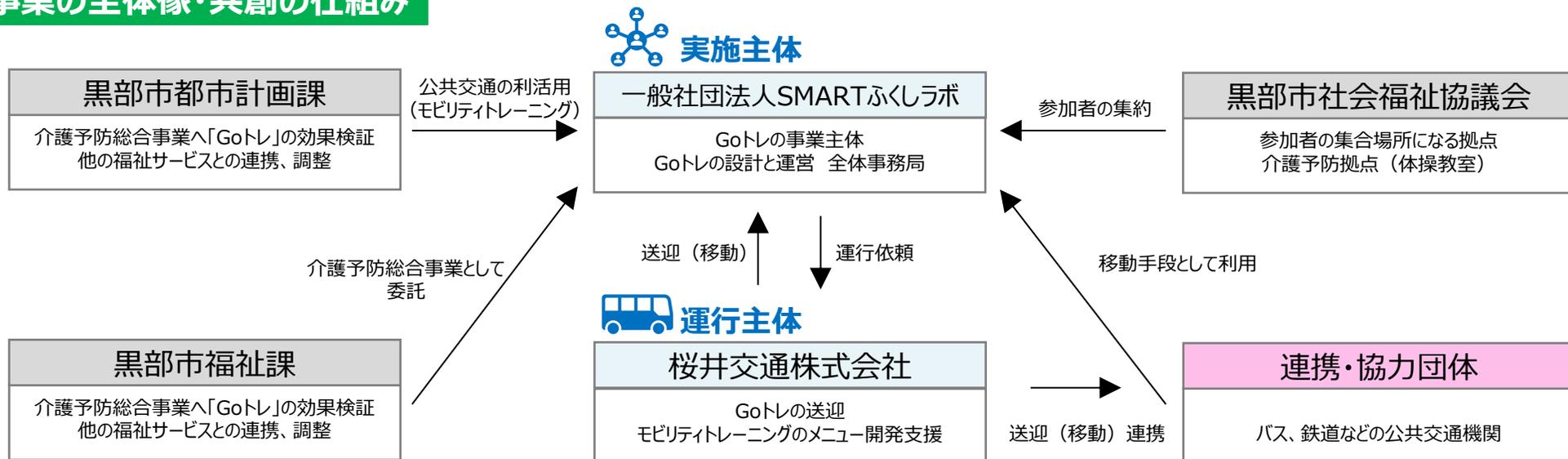
2030年に介護需要がピークを迎える際に、今から効果的な介護予防プログラム「Goトレ」を実施することで対象者のウェルビーイングの実現とともに介護費、医療費抑制への貢献と、地域交通の持続可能な体制を実現することが目的である。

今ある様々な地域資源（施設、場、交通資源）をフル活用して「地域丸ごとデイサービス」を実現し、人を動かすことで、地域全体の活性化を図ることを目指している。

### （事業の概要）

昨年度本事業で開発した「Goトレ」をブラッシュアップするとともに、より高齢者が外出しやすい環境づくりとして、公共交通を活用したモビリティトレーニングのプログラムを開発すること、また地域で開催されるイベントなどで、移動手段が車以外では難しいものに対して、Goトレを組み合わせることによって、移動手段を提供し新たなヒトの流れを作り、イベントの活性化と共に参加者の健康も生み出す可能性を検証する実験を行う。検証には主観的なアンケート、ヒアリングなどの調査と共に、ウェアラブル等でデータを収集し、より客観的な視点で分析を行っていく。

## 事業の全体像・共創の仕組み



## 取組の詳細

### (地域の関係者との連携・協働)

地域での移動課題解決を行う目的は、組織により様々であるがその部分を共有し、明確な共通ゴールを持つとともに利害を明確にして連携、協働することが重要である。このプロジェクトにおいても、住民自らの移動（歩く、近所までの乗合などの自助や互助の力）、福祉センターまでの巡回バスによる移動（福祉の力）、タクシーでの移動（交通事業者の力）、バスや鉄道での移動（公共交通の力）、Goトレの受け入れ場所（民間の力）の共創があって実現する。それぞれが自己完結しようと思うと、コストと負担が見合わなければ事業は持続可能にはならない。そこを協働で作り上げることによってこの事業は完成するものである。

### (実証事業により見込まれる効果)

Goトレで公共交通の利用も増やすことができ、更に様々な移動手段を体験（モビリティトレーニング）することによって、普段の暮らしの中で移動の選択肢が増え、公共交通の利用頻度も上がる。昨年度の実証実験において、Goトレの滞在地において、一人一回あたり約2,500円の消費行動がみられたことから人を動かすことよっての経済効果も見込める。

## 取組の詳細

### (事業実施手順・スケジュール)

実施内容	2024年度上期					2024年度下期						
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1) 共創プラットフォーム全体事業 共創プラットフォーム会議(年3回)		内部会議 改題	全体説明会 第1回会議				中間報告会 第2回会議				最終報告会 第3回会議	
2) 黒部Goトレ事業 ①基礎調査 運動能力テスト、基本チェックリスト等 (対象:介護予防教室参加者、黒部市ふれあい福祉センター来館者)		5月下旬~ 基礎調査 広報PR 【第1期】 参加者説明会 参加募集 参加同意	Goトレ(参加者8名/日) 火・水・木・金の全4コース 3か月パッケージ (11/22回、GoH6日 計8回)									
イ. 第2期(対象:福祉センター体操教室会員) 6-8月				【第2期】 参加者説明会 参加募集 参加同意	Goトレ(参加者8名/日) 火・水・木・金の全4コース 3か月パッケージ (11/22回、GoH6日 計8回)							
イ. 第2期(対象:福祉センター体操教室会員) 8-10月						【第3期】 参加者説明会 参加募集 参加同意	Goトレ(参加者8名/日) 火・水・木・金の全4コース 3か月パッケージ (11/22回、GoH6日 計8回)					
ウ. 第3期(対象:福祉センター体操教室会員) 10-12月								説明会 参加募集 参加同意	Goトレ(参加者8名/日) 火・水・木・金の全4コース 3か月パッケージ (11/22回、GoH6日 計8回)			
②イベントGoトレ事業 ※モデル事業												
ア. 第1回(対象:一般介護予防高齢者、後期高齢者、要支援、総合事業対象者)10月							説明会 参加募集 参加同意	Goトレ実証 (参加者20名/回)				
イ. 第2回(対象:一般介護予防高齢者、後期高齢者、要支援、総合事業対象者)12月								地区説明会 参加募集 参加同意	Goトレ実証 (参加者20名/回)			
ウ. 第3回(対象:一般介護予防高齢者、後期高齢者、要支援、総合事業対象者)2月									地区説明会 参加募集 参加同意	Goトレ実証 (参加者20名/回)		
③効果検証、アプリ開発					対象者へのヒアリング、アンケートによる効果検証 アプリ開発							
④調査研究・プログラム開発						プログラム実証・プログラム開発						
⑤国交省補助金申請(共創モデル実証プロジェクト)			決定					イベント参加者ニーズ規模調査				報告

### (補助事業実施後の予定)

Goトレの事業費については、前年度の実証実験を踏まえ令和6年度から介護予防財源を予算化することが出来た。

(令和6年度厚生労働省地域づくり加速化事業の支援を受け事業化の設計)

令和7年度は、Goトレのブラッシュアップと効果検証を進めることで引き続き、事業の継続と発展、市の政策との整合性や財源と照らし合わせ、対象者の拡充についても検討していく。

合わせて、介護予防財源を活用する前例ができたことを基に、全国各地への地域展開も予定している。

(令和6年度は黒部市も含め5地域が予定)

